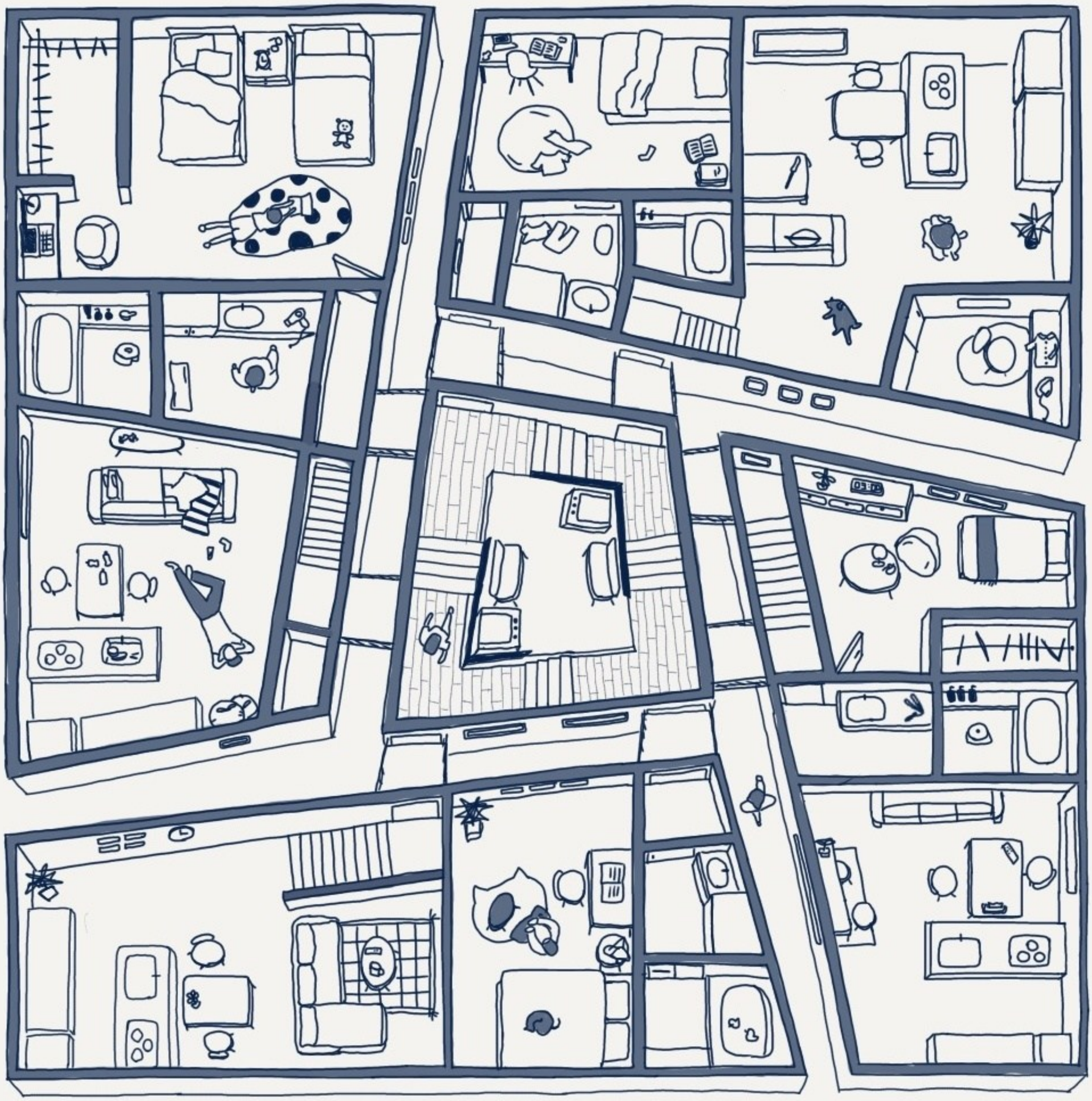
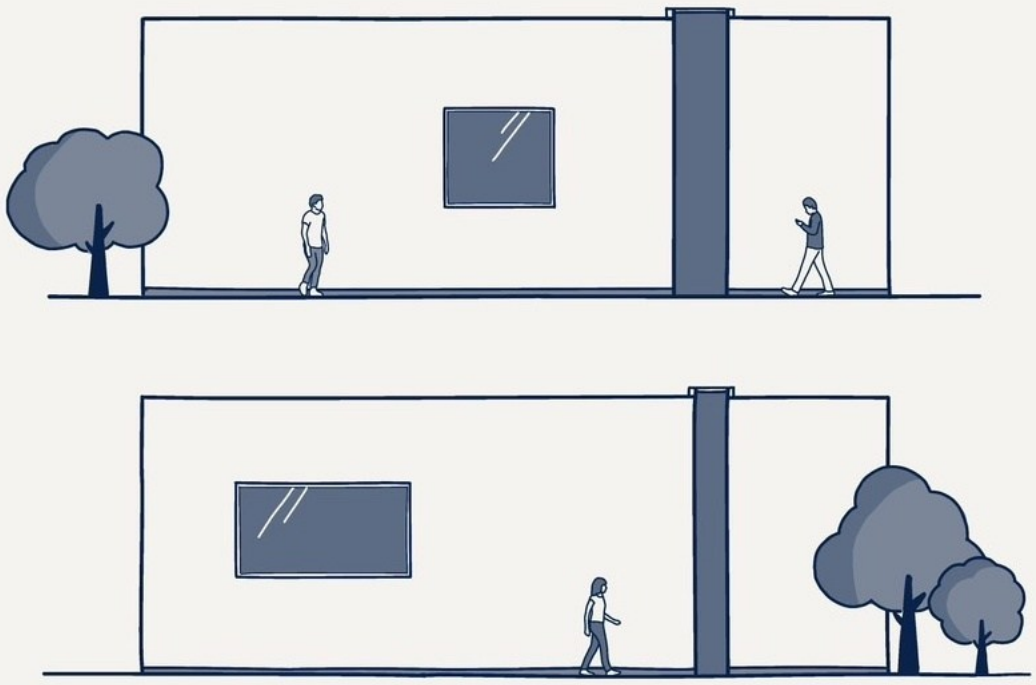


みち
路の家

路地がつなぐ
集合住宅と
共有乾燥・洗濯室のある家



■はじめに

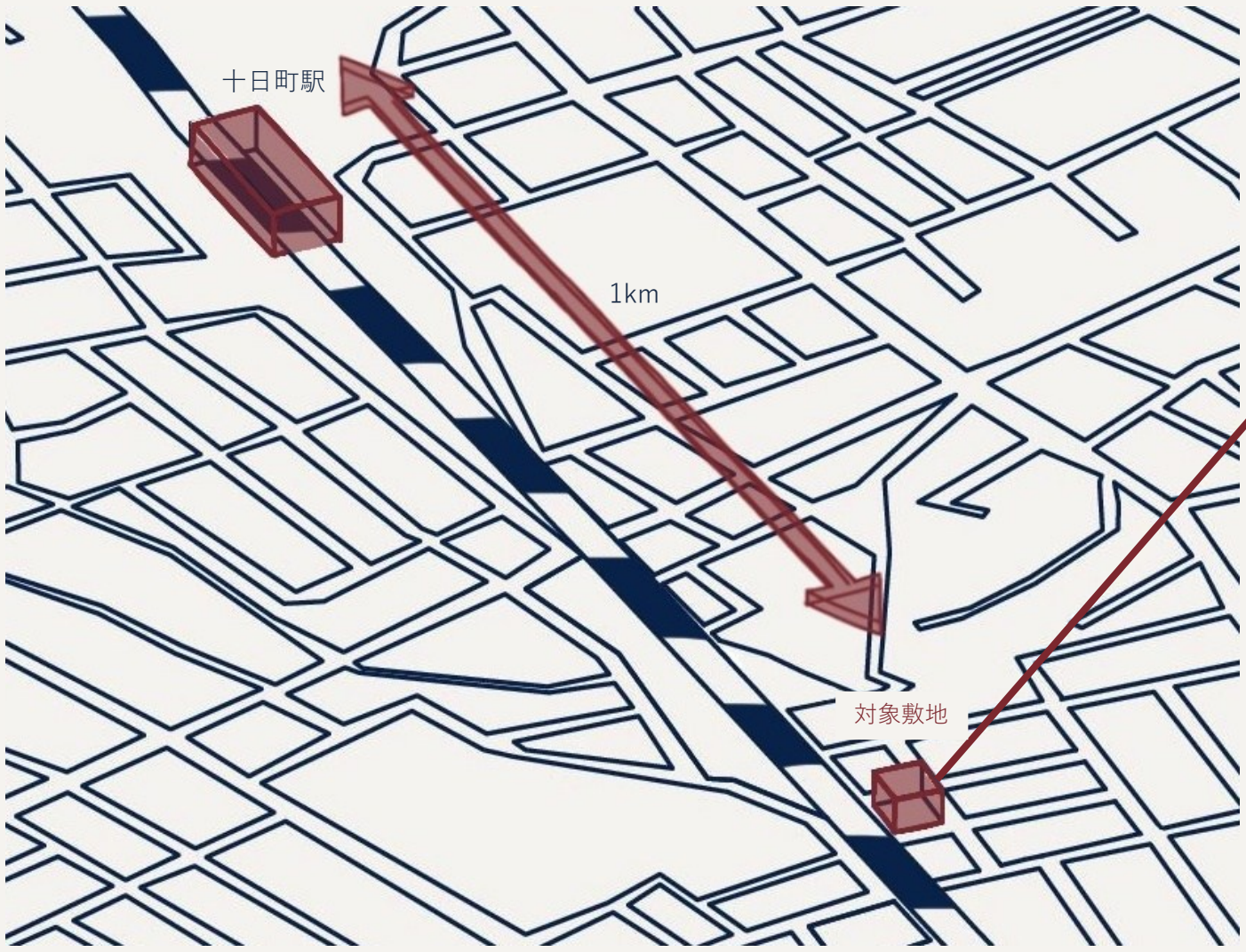
集合住宅とは、本来隣り合う暮らしを前提としたものである。
しかし、隣り合っているにも関わらず、隣の人の暮らしを感じさせない
ように努力されたものが多い。

生活感を遮断するために壁を 厚 くし、気配を 消 すために扉を重ねた。
他者からの干渉を 断 つことで安心感を得ようとしてきた。

本提案では、隣に暮らす人との関係を断ち切るのではなく、
どう距離感として扱うかを問う。

住居において　**人の気配をどこまで許容し、どこから距離を置くのか。**

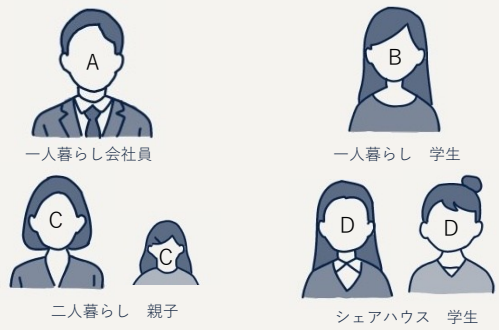
■対象敷地



■設計概要

所在地	新潟県十日町市寿町	建築面積	298.9441㎡
建築用途	集合住宅	延べ面積	439.86436㎡
敷地面積	418.9275㎡	1階	284.5643㎡
		2階	155.3000㎡

■対象者



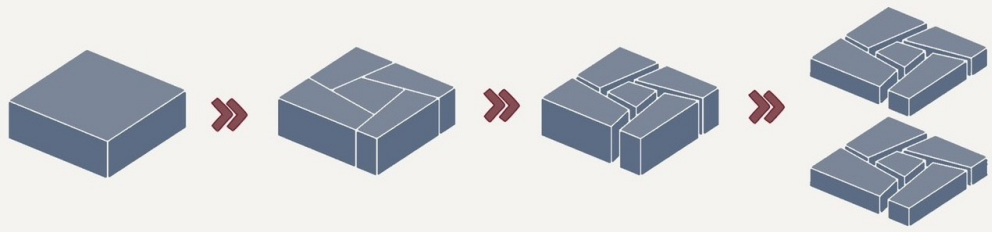
■設計背景

21世紀に暮らす私たちは、隣に暮らす他者との関係の保ち方を遮断によって調整してきた。
本提案は集合住宅において**壁を厚くするのではなく、路地的空間を入れ込む**。
近すぎても、遠すぎても成立しない、人と人との距離が住環境に路地として溶け込む。

冬には雪でできた無数の壁に包まれる十日町市、視界は少しずつ狭まっていき、人と人との距離も
少しずつ広がっていく。
そんな地域にこそ、同じ建物に暮らす者同士のつながりだけは薄れない住居が求められるのではないだろうか。
十日町市の大雪という地域特性を受け止めながら、21世紀の集合住宅における住民同士の関わり方を考える。

■形状

各棟は、台形になっており、これにより棟の間に斜めの路地的空間を創出する。



正方形　台形に分割　少しずつ離す　上下階に分ける

■洗濯

雪国新潟は全国的に見ても年間を通して曇天や降雪の日が多く、
陽光に恵まれる時間が少ない。

特に、十日町市は新潟県内においても有数の豪雪地帯である。
冬季には長期間にわたり、雪に覆われた風景が日常になる。

気温は氷点下となり、一般的に乾燥する冬であっても雪が降る
ことによって湿度が高くなる。

そこで頭を悩ませるのが、洗濯物が乾きにくいという問題だ。

本計画は乾燥・洗濯室を共有スペースとして位置づけることで、
雪国の暮らしが抱える問題に寄り添う。

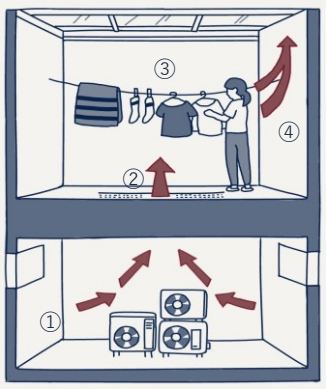
各住戸に分散していた乾燥・洗濯の機能を一か所に集約し、住民
全体で共有することで、この地域特有の問題に、より効率的かつ
持続的に対応する。

また、洗う、干す、乾くのを待つといった時間は、個々の住戸に
閉じられているものである。それらを共有空間へと開くことで、
住民同士が自然に居合わせ、緩やかな交流が生まれる。

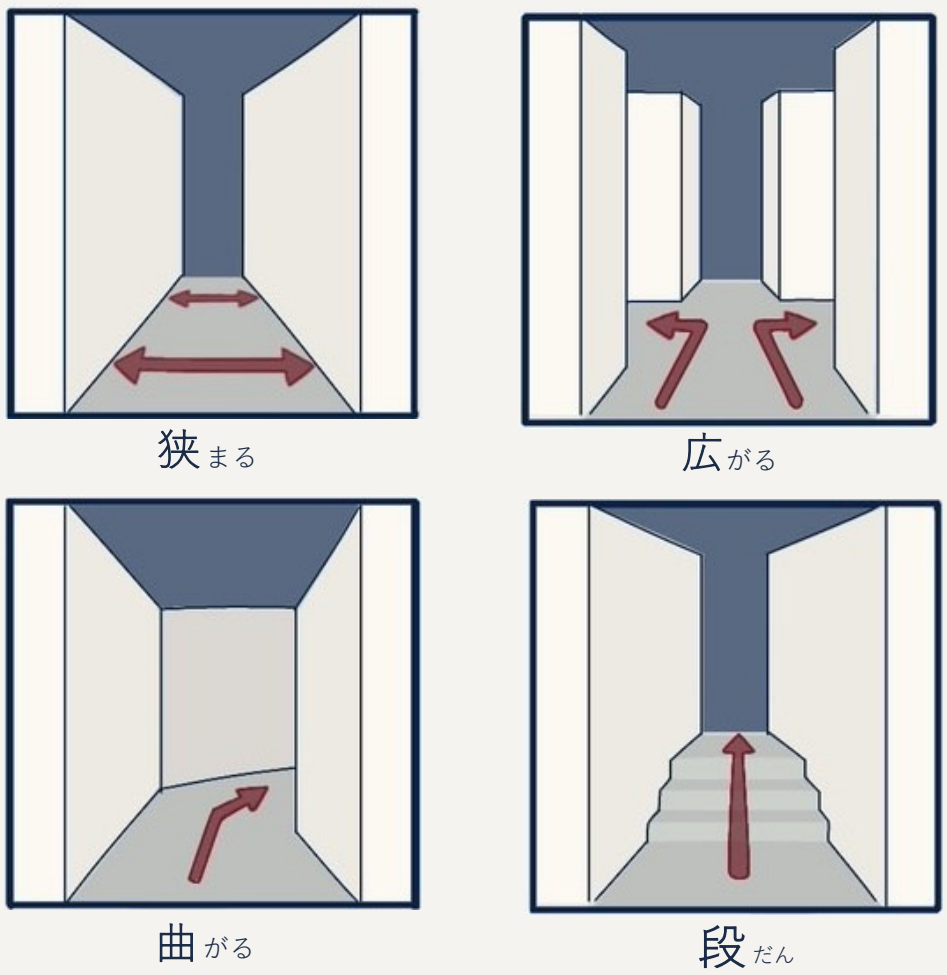
乾燥・洗濯室は単なるユーティリティとしての空間ではなく、雪
国での暮らしを支え、日常の中に住民同士のつながりとして機能
する。

乾燥室ダイアグラム

①室外機から出た暖かい排出
②ダクトを通り乾燥室の床から流入
③重力換気
④トップライト脇から排出



■路地



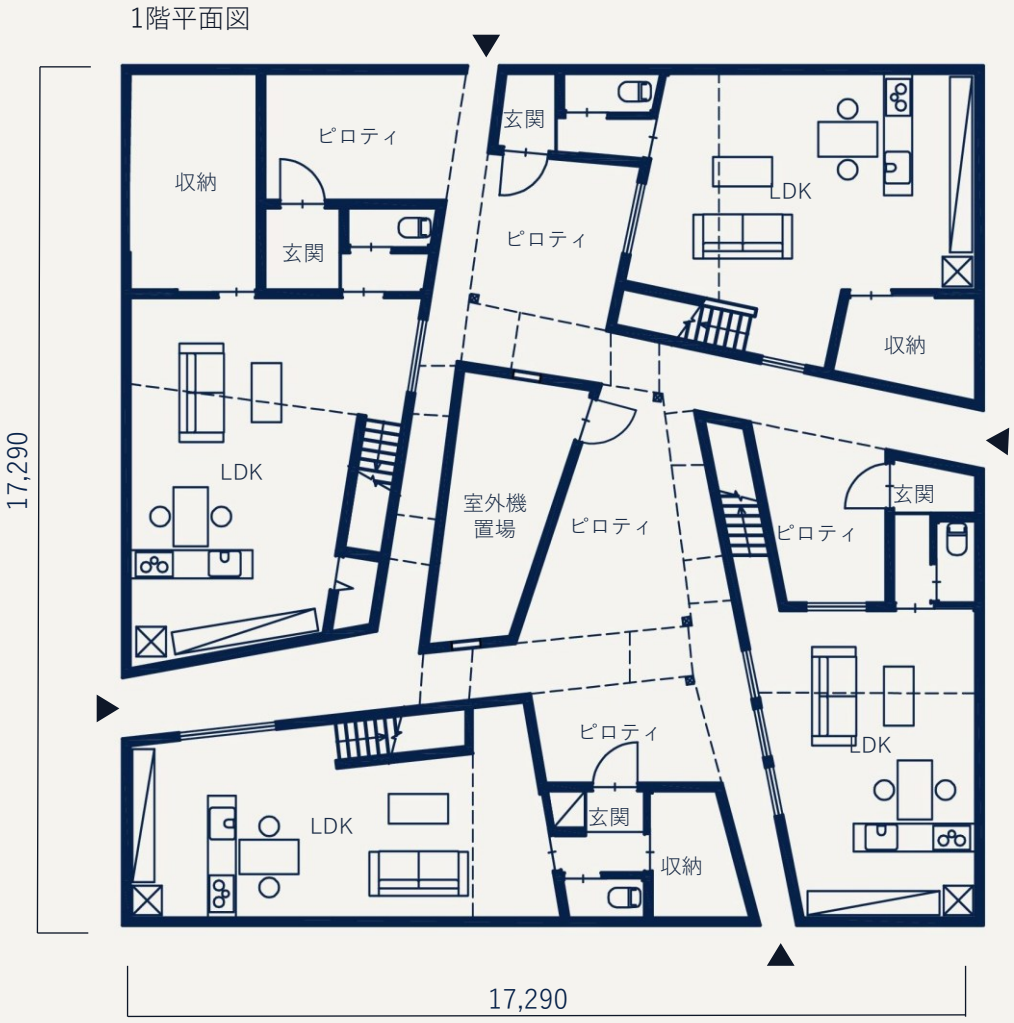
路地とは、**狭まる・広がる・曲がる・段だん**になっているの4つの要素が重なり合うことで、歩
くにつれて視界が遮られたり、ひらけたりを繰り返し、路地的空間を生み出す。

こうした路地的空間は、人の歩みをゆるやかにし、他者の気配を受け取る余裕を生む。
その中にある、出会いは日常に溶け込み、穏やかな関係性を築く。

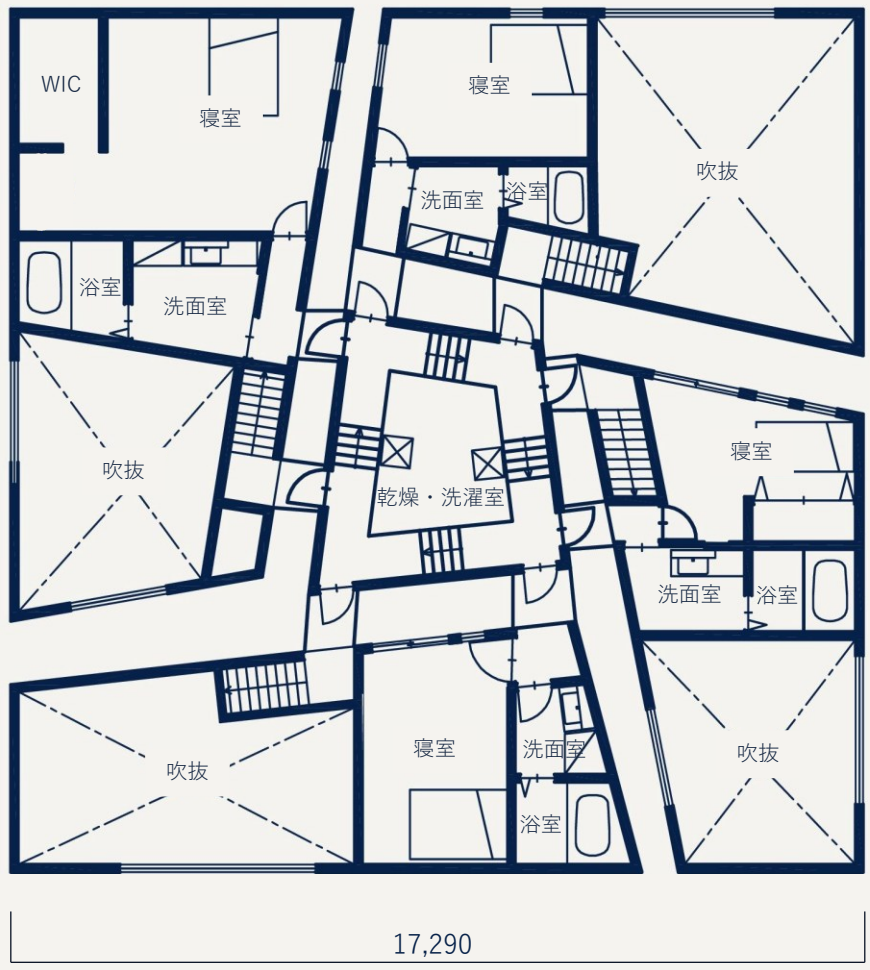
そして、身体の感覚として蓄積されるその道での体験は、過去の記憶、や季節の思い出と重な
り、理由のない懐かしさと落ち着きをもたらす。

■平面図　1/150

1階平面図



2階平面図



外形は正方形としてまとめた。それは雪国の除雪された後の雪壁を彷彿とさせる。

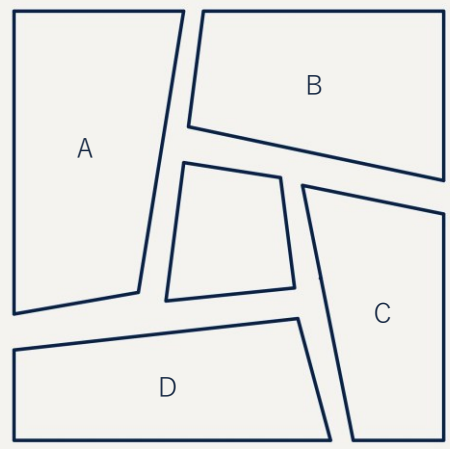
一方で内部構成は四棟の住居と一室の乾燥洗濯室とした。各部屋は、台形になっており、この形状操作によって、棟の間に斜めに抜ける路地状の細長い空隙が創出される。

これらの空間は単なる隙間ではなく、内部に“ずれ”や“距離感”を生み出す。集合住宅でありながら小さな街のような連なりが内包される。

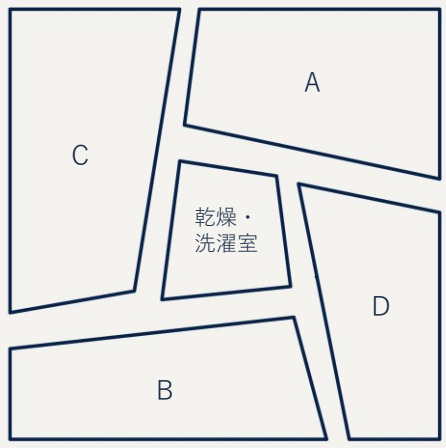
また、各住居の玄関は外周に対しては一切設けず、全て中央の路地空間に向けて配置した。外部から直接住居に入るのではなく、一度内部の街路を通る動線にするためである。

■各住居の配置

1階

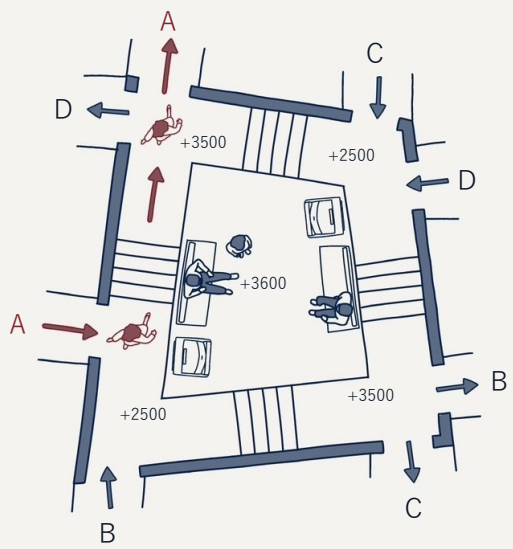


2階



一階と二階の中間領域に乾燥・洗濯室を配置した。
これにより、住民は一階から帰宅し、乾燥・洗濯室を経由し、二階へむかう。二階は主に浴室、寝室とすることで洗濯という家事が動線の中に組み込まれる。それぞれの一階部分と二階部分を上下統一させないことで路地空間、乾燥・洗濯室から視線が抜けるようにした。

■中央のレベル差

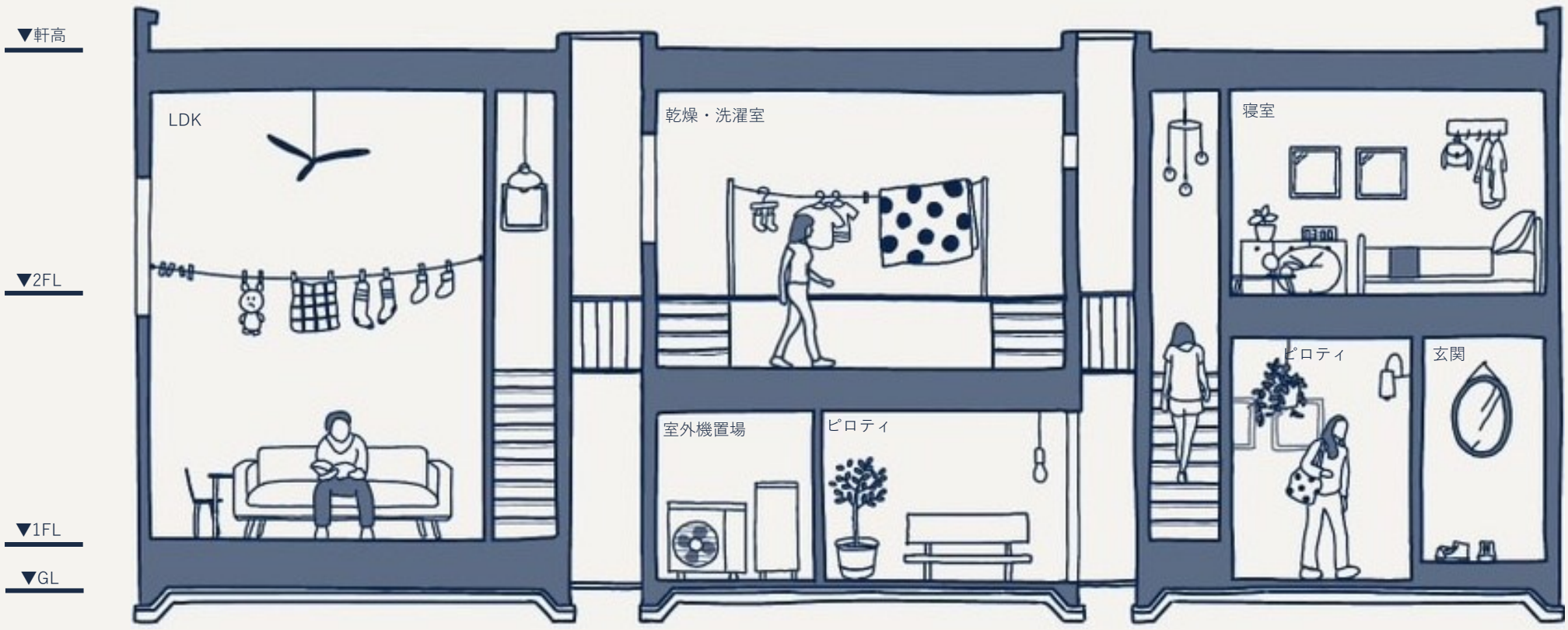


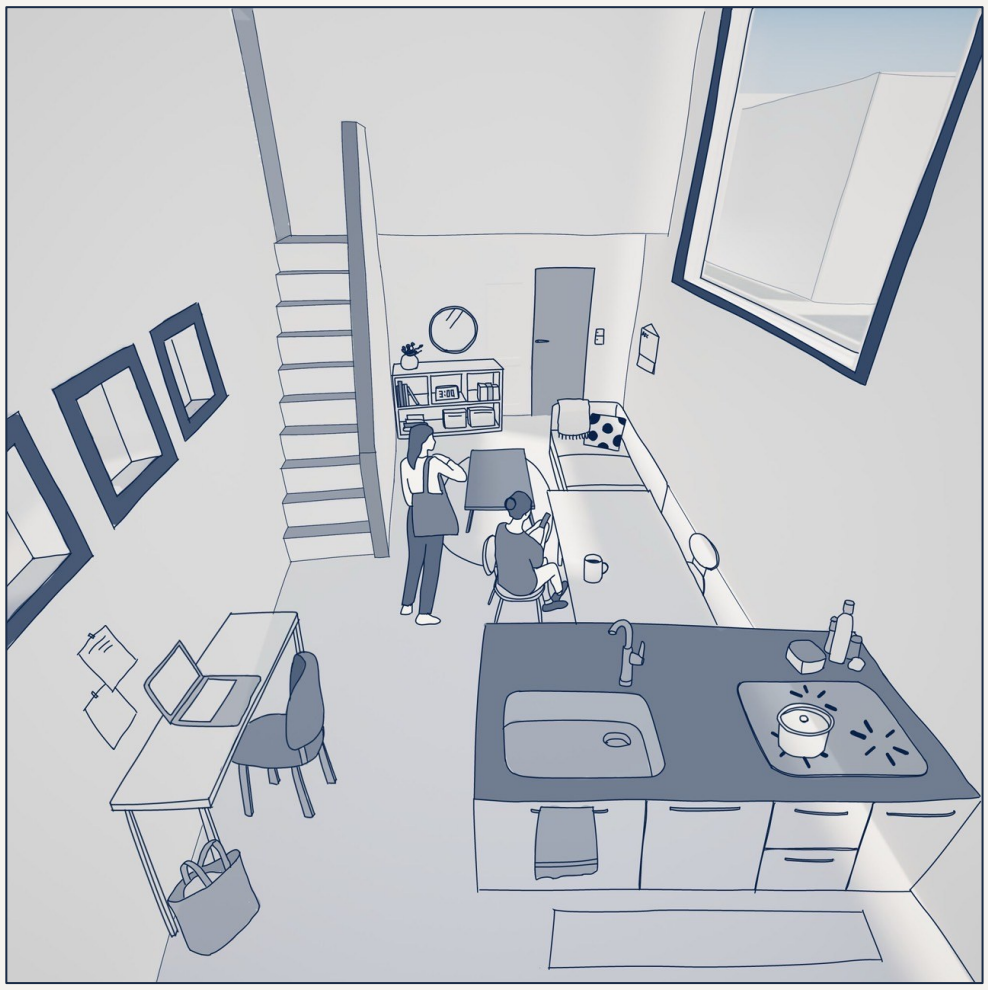
一階の階段から+2500まで上がり、回廊で+1000上がるり、乾燥・洗濯室へと行く。

乾燥・洗濯室の外周はレベル差のある回廊となっており、この空間で二階の渡り廊下の高さまで上がることができる。

+3500の二階のレベルまであがったら路地空間の上部にある渡り廊下を渡り、二階部分へ入る。

■断面図


▼軒高
▼2FL
▼1FL
▼GL
LDK
乾燥・洗濯室
寝室
室外機置場
ピロティ
ピロティ
玄関

▼軒高
▼2FL
▼1FL
▼GL
寝室
洗面室
乾燥・洗濯室
寝室
玄関
ピロティ
室外機置場
LDK

■内観パース